

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業区分 重点

事業名	ベンチプロジェクト	
所管課	保健福祉局総務企画部 地域福祉課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる、健康福祉のまちを実現していくため高齢者をはじめとして誰もが気軽に外出したくなるまちづくりを進める観点から、バス停など身近なところへベンチ設置を促進していく。
開始年度	平成29年度	
根拠法令	福岡市ベンチ購入費補助金交付要綱	
行政計画	なし	

基本計画				
施策コード	主	1-1-1		施策成果指標 なし
	再	4-5-2		
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている			
施策	ユニバーサルデザインの理念によるまちづくり			
事業群	ユニバーサル都市・福岡の推進			

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	市民等
	対象をどのような状態にしたいのか	誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる、健康福祉のまちを実現していくために、バス停など身近なところにベンチを設置することで高齢者をはじめとして誰もが気軽に外出したくなるまちになっている。

実施内容(手段)	令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域(自治協)に対してプロジェクトを周知し、要望の提出や補助金活用による設置を働きかけ</li> <li>○バス事業者等へ設置の働きかけ</li> <li>○バス停付近や地域が要望する道路沿いの市有地・歩道へベンチを設置</li> </ul> <p>【令和2年度設置数】 保健福祉局予算: 4箇所4基 他局予算: 5箇所7基 道路管理者予算: 6箇所8基</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○バス停付近や地域が要望する道路沿いの民有地に設置されるベンチに対し、1基あたり最大10万円を補助(西鉄バス停付近は、西鉄と市で半額ずつ負担)</li> </ul> <p>【令和2年度設置数】 8箇所10基</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ふくおか応援寄付により寄付を受け付け、ベンチ設置に活用</li> </ul>
----------	-------------------------------	---

事業費(千円)		
令和2年度決算額(見込額)		
歳出合計		2,723
歳入	特定財源	1,694
	一般財源	1,029
前年度決算額・翌年度予算額		
年度	R1	R3
歳出合計	7,852	17,002
歳入	特定財源	207
	一般財源	7,645
		14,002

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)																																																																												
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域(自治協)に対してプロジェクトを周知し、設置要望を受付</li> <li>○バス停付近や地域が要望する道路沿いの市有地等へベンチを設置</li> <li>○民有地の地権者等へベンチ設置を働きかけ、補助金を交付</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ベンチ設置要望数増加</li> <li>○市有地等へのベンチ設置数増加</li> <li>○ベンチ購入補助を活用したベンチ数増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外出や目的地間の移動が容易になる。</li> <li>○新たな交流や賑わいが生まれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○運動時間や目的地滞在時間が延び、健康増進に繋がる。</li> <li>○健康な市民が増加し、市民生活が活性化する。</li> <li>○住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる。</li> </ul>																																																																												
	活動の指標	成果の指標(KPI)																																																																														
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">市有地等へのベンチ設置箇所数</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">70</td> <td style="text-align: center;">85</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">R6年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">88</td> <td style="text-align: center;">99</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">145</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">125.7%</td> <td style="text-align: center;">116.5%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	市有地等へのベンチ設置箇所数	目標	70	85	100	R6年度	実績	88	99	145	達成率	125.7%	116.5%		目標				R年度		実績						達成率					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">外出時、バス停に屋根やベンチなどが少ないことで困っている人の割合(3年に1度集計)</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">15.7%</td> <td style="text-align: center;">15.0%</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">17.3%</td> <td style="text-align: center;">R6年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">18.9%</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">15.0%</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">83.1%</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">外出時、歩道にベンチなどが少ないことで困っている人の割合(3年に1度集計)</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">10.3%</td> <td style="text-align: center;">10.0%</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">11.7%</td> <td style="text-align: center;">R6年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">12.7%</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">10.0%</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">81.1%</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	外出時、バス停に屋根やベンチなどが少ないことで困っている人の割合(3年に1度集計)	目標	15.7%	15.0%	17.3%	R6年度	実績	18.9%	-	15.0%	達成率	83.1%	-	外出時、歩道にベンチなどが少ないことで困っている人の割合(3年に1度集計)	目標	10.3%	10.0%	11.7%	R6年度	実績	12.7%	-	10.0%	達成率	81.1%	-	
指標の内容	年度			実績		目標																																																																										
		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度																																																																											
市有地等へのベンチ設置箇所数	目標	70	85	100	R6年度																																																																											
	実績	88	99		145																																																																											
	達成率	125.7%	116.5%																																																																													
	目標				R年度																																																																											
	実績																																																																															
	達成率																																																																															
指標の内容	年度	実績		目標																																																																												
		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度																																																																											
外出時、バス停に屋根やベンチなどが少ないことで困っている人の割合(3年に1度集計)	目標	15.7%	15.0%	17.3%	R6年度																																																																											
	実績	18.9%	-		15.0%																																																																											
	達成率	83.1%	-																																																																													
外出時、歩道にベンチなどが少ないことで困っている人の割合(3年に1度集計)	目標	10.3%	10.0%	11.7%	R6年度																																																																											
	実績	12.7%	-		10.0%																																																																											
	達成率	81.1%	-																																																																													

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

		事業区分	重点	基本計画		
<b>事業名</b>	バリアフリーのまちづくり推進経費					
<b>所管課</b>	保健福祉局総務企画部 地域福祉課	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b> 平成10年に「福祉のまちづくり条例」を施行し、高齢者や障がいのある人をはじめ、すべての人が安全かつ快適に利用できるよう、建築物や旅客施設などの整備基準を定めて都市施設のバリアフリー化を推進してきた。	<b>施策コード</b>	主 再	1-1-1
<b>開始年度</b>	平成10年度			<b>分野別目標</b>	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている	
<b>根拠法令</b>	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律			<b>施策</b>	ユニバーサルデザインの理念によるまちづくり	
<b>行政計画</b>	福岡市バリアフリー基本計画			<b>事業群</b>	ユニバーサル都市・福岡の推進	
				<b>施策成果指標</b>	ユニバーサルデザインの取組みへの評価(令和2年度:44.3%) (ユニバーサルデザインの取組みが進んでいると思う市民の割合)	

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>	<b>実施内容(手段)</b>	<b>令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>	<b>事業費(千円)</b>					
	市民。特に高齢者や障がい者等、身体の機能上の制約を受ける方		○近年のバリアフリー法や各種ガイドラインなどの改正をふまえ、学識経験者、専門家、利用者からなる研究会を設置し、「福祉のまちづくり条例 施設整備マニュアル」を改訂し、施行 ○福祉のまちづくり条例及び福岡市バリアフリー基本計画(ロードマップ平成29年度～令和2年度)に基づき、道路や旅客施設等のバリアフリー化を推進 ○車いす利用者おでかけマップを利用したモニターツアーを開催(0回) ※新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み中止 ○市民向け講座の充実、特に子ども向け(小4対象)のバリアフリー教室を開催(5回) ※子ども向けは新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み未実施 ○バリアフリーのまちづくりサポーター制度について、施設所管課へ制度活用の働きかけを行い、実施(2回) ○職員向けのバリアフリー研修を実施(0回) ※新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑み中止	<b>令和2年度決算額(見込額)</b>					
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>	<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>							
	「どこでも、誰でも、自由に、使いやすく」というユニバーサルデザインの考えに基づき、建築物や旅客施設、道路、公園などの都市施設が、誰もが安全で快適に利用できるようになっている。		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">歳出合計</td> <td style="text-align: right;">6,425</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">歳入</td> <td style="text-align: right;">6,316</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">特定財源</td> <td style="text-align: right;">109</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">一般財源</td> <td style="text-align: right;">6,316</td> </tr> </table>	歳出合計	6,425	歳入	6,316	特定財源	109
歳出合計	6,425								
歳入	6,316								
特定財源	109								
一般財源	6,316								
				<b>年度</b>	R1	R3			
		歳出合計	7,159	10,925					
		歳入	47	115					
		特定財源	7,112	10,810					
		一般財源							

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)																																																																																
	○バリアフリー基本計画による事業の推進及び検証 ○出前講座や子ども(小4)向けバリアフリー教室など、市民向け講座の充実 ○まちづくりサポーター制度活用促進 ○職員向けのバリアフリー研修の実施	○誰もが安全で利用しやすい施設づくりが進む。 ○多様な人々の存在をお互いに理解し、支え合う「心のバリアフリー」が浸透する。 ○施設の改修などにおいて、よりきめ細やかなバリアフリー化が進む。 ○出前講座やバリアフリー研修の受講者数が増す。	○安全で快適に移動や施設の利用ができる。 ○バリアフリー化の促進に関する市民の理解が増す。 ○バリアフリーへの理解が深まり、支え合う心が生まれる。	○すべての市民が日常生活における自立や社会参加できるようになる。																																																																																
	<b>活動の指標</b>	<b>成果の指標(KPI)</b>																																																																																		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">市民向け講座の開催回数(回)</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">70</td> <td style="text-align: center;">80</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">90</td> <td style="text-align: center;">R6年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">78</td> <td style="text-align: center;">82</td> <td style="text-align: center;">120</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">111.4%</td> <td style="text-align: center;">102.5%</td> <td style="text-align: center;">120</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">バリアフリーのまちづくりサポーターによる施設点検実施数(回)</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">R6年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">17</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">150.0%</td> <td style="text-align: center;">100.0%</td> <td style="text-align: center;">17</td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	市民向け講座の開催回数(回)	目標	70	80	90	R6年度	実績	78	82	120	達成率	111.4%	102.5%	120	バリアフリーのまちづくりサポーターによる施設点検実施数(回)	目標	2	5	8	R6年度	実績	3	5	17	達成率	150.0%	100.0%	17	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">ユニバーサルデザインの取組みが進んでいると思う市民の割合</td> <td>目標</td> <td style="text-align: center;">50.0</td> <td style="text-align: center;">58.0</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">58.0</td> <td style="text-align: center;">R4年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td style="text-align: center;">44.5</td> <td style="text-align: center;">44.3</td> <td style="text-align: center;">65.0</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td style="text-align: center;">89.0%</td> <td style="text-align: center;">76.4%</td> <td style="text-align: center;">65.0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">R 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	ユニバーサルデザインの取組みが進んでいると思う市民の割合	目標	50.0	58.0	58.0	R4年度	実績	44.5	44.3	65.0	達成率	89.0%	76.4%	65.0		目標				R 年度		実績						達成率						
指標の内容	年度			実績		目標																																																																														
		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度																																																																															
市民向け講座の開催回数(回)	目標	70	80	90	R6年度																																																																															
	実績	78	82		120																																																																															
	達成率	111.4%	102.5%		120																																																																															
バリアフリーのまちづくりサポーターによる施設点検実施数(回)	目標	2	5	8	R6年度																																																																															
	実績	3	5		17																																																																															
	達成率	150.0%	100.0%		17																																																																															
指標の内容	年度	実績		目標																																																																																
		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度																																																																															
ユニバーサルデザインの取組みが進んでいると思う市民の割合	目標	50.0	58.0	58.0	R4年度																																																																															
	実績	44.5	44.3		65.0																																																																															
	達成率	89.0%	76.4%		65.0																																																																															
	目標				R 年度																																																																															
	実績																																																																																			
	達成率																																																																																			

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	障がい者差別解消条例施行経費	
所管課	保健福祉局障がい者部	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
	障がい者支援課	
開始年度	平成27年度	背景 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)が、平成25年6月に公布され、平成28年4月から施行された。
根拠法令	障害者差別解消法、福岡市障がい者差別解消条例	
行政計画	福岡市保健福祉総合計画	

基本計画			
施策コード	主	1-2-1	
	再	1-6-2	
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	すべての人の人権が尊重されるまちづくりと男女共同参画の推進		
事業群	人権尊重のまちづくり		
施策成果指標	一人ひとりの人権が尊重されていると感じる市民の割合		

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	国民(市民)、民間事業者、市職員等
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	全ての国民(市民)が、障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障がい理由とする差別の解消を推進する。

実施内容(手段)	令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業者や市民を対象とする各種説明会、研修会、イベント等の際に、福岡市障がい者差別解消条例のパンフレットやチラシを活用し、広報・啓発を実施した。</li> <li>○福岡市障がい者差別解消条例に基づき、相談窓口などにおいて相談対応を実施した。</li> <li>○福岡市障がい者差別解消推進会議などの附属機関を運営した。</li> <li>○障がい者差別解消条例に関する出前講座を実施した。</li> <li>○障がいのある方に対する合理的配慮等について、イラストなどを活用し用いて、分かりやすく理解してもらうための児童向け啓発リーフレットを作成した。</li> </ul>

事業費(千円)		
令和2年度決算額(見込額)		
歳出合計		11,099
歳入	特定財源	4,934
	一般財源	6,165
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	R1
	R3	
歳出合計	11,068	14,885
歳入	特定財源	4,369
	一般財源	7,398
	6,699	7,487

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○差別の解消に関する広報・啓発</li> <li>○差別に関する相談対応の実施や相談窓口の運営</li> <li>○差別事案の調査、行政指導</li> <li>○条例に基づき設置する附属機関の運営</li> <li>○条例に関する逐条解説の策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民、民間事業者、市職員等の障がいを理由とする差別に対する意識や合理的配慮の取組みが啓発される。</li> <li>○実効的な相談体制や紛争解決体制が構築される。</li> <li>○実際に起きた障がいを理由とする差別事案の解決に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○不当な差別的取扱いの禁止や合理的配慮の提供が徹底され、障がいを理由とする差別の解消が促進される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会になる。</li> </ul>		
	活動の指標	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)	
			年度	R1年度	R2年度	R3年度
	出前講座実施回数	目標	8	-	-	R 年度
		実績	8	1	-	-
		達成率	100.0%	-	-	-
	障がい者差別相談件数	目標	30	-	-	R 年度
		実績	72	38	-	-
		達成率	240.0%	-	-	-
		年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
	差別を受けた経験(差別を受けたりいやな思いをした経験の割合)(3年に1度集計)	目標	20.0%	-	-	R 年度
		実績	20.9%	-	-	-
		達成率	104.5%	-	-	-
		目標				R 年度
		実績				
		達成率				

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	福岡市健康づくりチャレンジ事業		
<b>所管課</b>	保健福祉局健康医療部 健康増進課	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>
<b>開始年度</b>	平成23年度		健康づくりは、市民一人ひとりの取組みが重要であるが、「福岡市民は健康づくりへの意欲は高いが、実際の行動に結びついていない」という調査結果から、市民の関心や意欲を的確にとらえ、健康づくりの実践に結び付けていくことが必要となった。
<b>根拠法令</b>	健康増進法		
<b>行政計画</b>	健康日本21福岡市計画		

基本計画			
<b>施策コード</b>	主	1-3-1	
	再		
<b>分野別目標</b>	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
<b>施策</b>	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり		
<b>事業群</b>	ライフステージに応じた健康づくり		
<b>施策成果指標</b>	健康に生活している高齢者の割合(60歳以上で「健康で普通に生活している」と回答した市民の割合)		

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	市民
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	市民一人ひとりが自主的に健康づくりに取り組み、住み慣れた家庭や地域で安心して暮らしていく。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	<p>○オンラインイベントの実施 新型コロナウイルス感染症の影響により生じた運動不足やストレスを、新しい生活様式に合わせた手法で解消することを目的に、オンライン運動会を開催。1日2回開催で、参加者は計46人。また、ウォーキングアプリ「ふくおか散歩」を活用したウォーキングイベントを実施</p> <p>○健康づくり月間ほか 健康づくりの機運を高めるために、10月を健康づくり月間と題して集中的に広報(健康セミナー・ヨガの動画配信、サイト内特設ページの開設、タブロイド紙の作成・配布など)を実施。その他、健康づくり・スポーツサイトの運営により、健康づくりの広報・啓発に取り組んだ。</p> <p>※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、当初予定していた多人数が集まるイベントは中止とし、主にオンラインによる事業を実施</p>

事業費(千円)		
<b>令和2年度決算額(見込額)</b>		
	<b>歳出合計</b>	11,491
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	1,741
	<b>一般財源</b>	9,750
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	<b>年度</b>	R1      R3
	<b>歳出合計</b>	13,918      13,386
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	1,953      1,817
	<b>一般財源</b>	11,965      11,569

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校区衛生連合会等の活動支援</li> <li>○正しい健康情報の配信(健康展等の開催)</li> <li>○区の実情に合わせた、ウォーキング大会の開催やウォーキンググループの活動支援</li> </ul>	○市民が健康づくりに興味を持つ。	○市民が健康づくりに取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康づくりに取り組む市民が増える。</li> <li>○健康寿命の延伸</li> </ul>	
	<b>活動の指標</b>	<b>成果の指標(KPI)</b>			
	<b>指標の内容</b>	<b>指標の内容</b>			
	<b>年度</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>	
健康づくり月間におけるイベント参加者数	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	
	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	
	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	
健康づくりフェスタへの参加者数	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	
	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	
	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業名	特定健診事業、特定保健指導事業(まとめて点検)	
所管課	保健福祉局生活福祉部保険医療課	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b> 国の医療制度改革に伴い、平成20年度より医療保険者に実施が義務付けられたもの
開始年度	平成20年度	
根拠法令	高齢者の医療の確保に関する法律	
行政計画	なし	

基本計画			事業区分	重点
施策コード	主	1-3-1	特定健診・保健指導実施計画第三期 令和5年度目標値 特定健診実施率 40% 継続受診率 70% 特定保健指導実施率40%	
	再			
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている			
施策	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり			
事業群	ライフステージに応じた健康づくり			

## 【事業概要】

対象	<b>誰(何)を対象として行うのか</b> 40～74歳の福岡市国民健康保険被保険者
	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b> 特定健診の実施により、メタボリックシンドローム該当者及び予備群を減少させるための特定保健指導を必要とする人を的確に抽出し、対象者に保健指導を実施することで、生活習慣の改善を図り、生活習慣病の発症・重症化を予防する。

実施内容(手段)	<b>令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b> ○特定健診受診率向上推進会議による、取組み状況の共有等、各区と本庁の一体的な推進体制の強化 ○DMや架電による個別勧奨、市政だより等による広報、医師会との連携による医療機関への受診促進依頼 ○国保連のシステムを活用し、未受診者で治療中の人の検査データを収集し特定健診を受診したものとみなす「医療情報収集事業」を実施 ○加入保険に関係なく、出かけるついでにさまざまな健診を受診できる「よりみち健診」を実施 ○特定健診・特定保健指導等に関する連絡会議を開催し、受診率・実施率向上に向けた協議を実施。実態把握や、成功事例の共有などを目的に、医療機関ヒアリングを実施
----------	---

事業費(千円)			
令和2年度決算額(見込額)			
歳出合計	679,591		
歳入	特定財源	461,975	
	一般財源	217,616	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R1	R3
歳出合計	711,926	795,600	
歳入	特定財源	473,818	272,640
	一般財源	238,108	522,960

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか) ○特定健診 ○特定保健指導 ○特定健診受診率向上のための市民への働きかけ	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか) ○特定健診受診者の増加 ○特定保健指導対象者数の増加	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか) ○生活習慣の改善により、生活習慣病を発症する人や重症化させる人の増加が抑制される。	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか) ○市民の生活の質が維持・向上されるとともに、医療費の伸びの適正化が図られる。																																																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">特定健診受診率</td> <td>目標</td> <td>30.5</td> <td>33.0</td> <td rowspan="2">35.5</td> <td>R5年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>27.2</td> <td>集計中</td> <td>40.0</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>89.2%</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>64.0</td> <td>66.0</td> <td rowspan="2">68.0</td> <td>R5年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>62.8</td> <td>集計中</td> <td>70.0</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>98.1%</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	特定健診受診率	目標	30.5	33.0	35.5	R5年度	実績	27.2	集計中	40.0	達成率	89.2%	-			目標	64.0	66.0	68.0	R5年度	実績	62.8	集計中	70.0	達成率	98.1%	-			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">特定保健指導実施率</td> <td>目標</td> <td>32.0</td> <td>34.0</td> <td rowspan="2">36.0</td> <td>R5年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>31.5</td> <td>集計中</td> <td>40.0</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>98.4%</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	特定保健指導実施率	目標	32.0	34.0	36.0	R5年度	実績	31.5	集計中	40.0	達成率	98.4%	-			目標				R年度	実績					達成率				
	指標の内容			年度	実績		目標																																																																										
		R1年度	R2年度		R3年度	最終年度																																																																											
特定健診受診率	目標	30.5	33.0	35.5	R5年度																																																																												
	実績	27.2	集計中		40.0																																																																												
	達成率	89.2%	-																																																																														
	目標	64.0	66.0	68.0	R5年度																																																																												
実績	62.8	集計中	70.0																																																																														
達成率	98.1%	-																																																																															
指標の内容	年度	実績		目標																																																																													
		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度																																																																												
特定保健指導実施率	目標	32.0	34.0	36.0	R5年度																																																																												
	実績	31.5	集計中		40.0																																																																												
	達成率	98.4%	-																																																																														
	目標				R年度																																																																												
実績																																																																																	
達成率																																																																																	

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業名	高齢者元気づくり応援事業	
所管課	保健福祉局高齢社会部 地域包括ケア推進課	<b>背景</b> 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 市民が日頃から健康づくり・介護予防に取り組めるよう、住民主体の活動を支援する仕組みづくりが求められていた。
開始年度	平成28年度	
根拠法令	介護保険法第115条の45第1項第1号	
行政計画	なし	

基本計画			事業区分	重点
施策コード	主	1-3-2	健康に生活している高齢者の割合	
	再			
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている			
施策	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり			
事業群	生涯現役社会づくり			

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	第1号被保険者のすべての者、及びその支援のための活動に関わる者
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	高齢者が容易に通える身近な所に健康づくり・介護予防に取り組める場が増えることで、自ら健康づくり・介護予防に取り組み、自立した生活を続けることができる。

実施内容(手段)	令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	○介護予防活動支援補助金 住民主体で結成され健康づくり・介護予防に取り組むグループに必要な経費の一部を助成する。※新型コロナウイルスの影響により未実施
	○よかトレ実践ステーション支援事業 健康づくり・介護予防に取り組む自主グループに対し、年に1~2回交流会を開催し、体操メニューの紹介や講話、意見交換を行うことで、取り組み継続のモチベーションアップを図る。
	○よかトレ実践サポーター養成事業 介護予防の取り組みをサポートする人材を育成するとともに、サポーター自身の生きがいや介護予防につながることを目指す。
	○福岡市介護予防応援WEBサイトによる情報発信

事業費(千円)			
令和2年度決算額(見込額)			
歳出合計	1,641		
歳入	特定財源	1,563	
	一般財源	78	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R1	R3
歳出合計	4,893	4,267	
	特定財源	4,631	3,734
歳入	一般財源	262	533

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)																																																																																	
	○自主的に健康づくり・介護予防に取り組むグループに対し、活動継続、よかトレ認証の支援を行う。 ○市政だより、ホームページ等で広報を実施	○自主的に健康づくり・介護予防に取り組むグループが補助金を利用する。 ○自主グループの活動を継続しようというモチベーションが向上する。	○自主グループの活動が継続され健康の維持増進につながる。	○地域で介護予防が推進され、健康寿命の延伸につながる。																																																																																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">介護予防活動支援補助金の申請数</td> <td>目標</td> <td>50</td> <td>-</td> <td rowspan="2">R2年度末</td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>23</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>46.0%</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">よかトレ実践ステーション創出校区・地区数</td> <td>目標</td> <td>151</td> <td>151</td> <td rowspan="2">151</td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>149</td> <td>149</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>98.7%</td> <td>98.7%</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	介護予防活動支援補助金の申請数	目標	50	-	R2年度末	R 年度	実績	23	-	-	達成率	46.0%	-	-	-	よかトレ実践ステーション創出校区・地区数	目標	151	151	151	R 年度	実績	149	149	-	達成率	98.7%	98.7%	-	-	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">健康に生活している高齢者の割合(3年に1度集計) ※平成28年度:50.6% 福岡市高齢者実態調査より</td> <td>目標</td> <td>-</td> <td>-</td> <td rowspan="2">-</td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>48.4</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	健康に生活している高齢者の割合(3年に1度集計) ※平成28年度:50.6% 福岡市高齢者実態調査より	目標	-	-	-	R 年度	実績	48.4	-	-	達成率	-	-	-	-		目標				R 年度		実績						達成率				
	指標の内容			年度	実績		目標																																																																														
R1年度		R2年度	R3年度		最終年度																																																																																
介護予防活動支援補助金の申請数	目標	50	-	R2年度末	R 年度																																																																																
	実績	23	-		-																																																																																
	達成率	46.0%	-	-	-																																																																																
よかトレ実践ステーション創出校区・地区数	目標	151	151	151	R 年度																																																																																
	実績	149	149		-																																																																																
	達成率	98.7%	98.7%	-	-																																																																																
指標の内容	年度	実績		目標																																																																																	
		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度																																																																																
健康に生活している高齢者の割合(3年に1度集計) ※平成28年度:50.6% 福岡市高齢者実態調査より	目標	-	-	-	R 年度																																																																																
	実績	48.4	-		-																																																																																
	達成率	-	-	-	-																																																																																
	目標				R 年度																																																																																
	実績																																																																																				
	達成率																																																																																				

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業名	地域との協働による買い物等支援推進事業	
所管課	保健福祉局総務企画部 地域福祉課	背景 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 超高齢社会が進展し、自らの運転で買い物に行けなくなる者が増えるなど、ますます買い物困難者が増えることが想定されるため、高齢者の買い物などの日常生活を支援する仕組みについて、早急に検討する必要がある。
開始年度	平成28年度	
根拠法令	なし	
行政計画	福岡市保健福祉総合計画	

基本計画			
施策コード	主	1-3-2	
	再	2-3-1	
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり		
事業群	生涯現役社会づくり		

事業区分	重点
------	----

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか 日常の買い物等が困難な高齢者へ支援を希望する地域団体等
	対象をどのような状態にしたいのか 住民の支え合いの力や企業・事業所・NPO等の多様な主体の参加による、地域資源を活用した買い物支援モデルの構築

実施内容(手段)	令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか ○平成28年度に公募した1地域において、市が地域団体に車両を貸出し、地域ボランティアの運転、付添いによって、買い物先まで送迎するモデル事業を引き続き実施 ○買い物支援推進員を社協に配置し、新たに公募した5地域において、企業・事業所等の地域資源の掘り起こしを進め、これと地域をマッチングすることで、地域の特性やニーズに応じた、多様で持続可能な買い物支援の仕組みの構築を支援
----------	---

事業費(千円)			
令和2年度決算額(見込額)			
歳出合計		18,610	
歳入	特定財源	9,305	
	一般財源	9,305	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R1	R3
歳出合計		14,424	-
歳入	特定財源	7,212	-
	一般財源	7,212	-

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	①活動アウトプット (どんな活動を行うのか)	②結果アウトプット (活動の結果、どうなるのか)	③中間アウトカム (その結果、対象はどうなるのか)	④最終アウトカム (その結果、市としてどうなるのか)		
	○買い物支援推進員が、公募したモデル事業の実施地域において、地域に応じた買い物支援が実施されるよう支援を実施	○住民の支え合いの力や企業・事業所・NPO等の多様な主体の参加による、地域資源を活用した多様な買い物支援の実施に向けた取り組みがなされる。	○地域団体等が、必要な地域で支援を実施するための、持続可能な買い物支援の実施手法や実施地域の特性等が整理される。	○持続可能で地域の実情に応じた多様な買い物支援が実施され、高齢者が安心して暮らしつづけられる生活基盤づくりが進む。		
活動の指標	指標の内容	実績	目標	成果の指標(KPI)		
活動の指標	買い物支援の仕組みづくりに取り組む地域団体数	年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
		目標	5	6		R2年度
		実績	6	6	-	6
		達成率	120.0%	100.0%		
		目標				R年度
		実績				
達成率						
成果の指標(KPI)	多様な買い物支援モデルの構築(地域数)	年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
		目標	5	6		R2年度
		実績	6	6	-	6
		達成率	120.0%	100.0%		
		目標				R年度
		実績				
達成率						

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業区分	重点
------	----

事業名	健康・社会参加インセンティブ制度検討	
所管課	保健福祉局総務企画部	背景
	政策推進課	
開始年度	平成28年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	
事業を始めた理由(きっかけ)は何か		
超高齢社会への対応		

基本計画			
施策コード	主	1-3-2	
	再		
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり		
事業群	生涯現役社会づくり		
施策成果指標	なし		

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	健康づくりや地域活動を考えている市民
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	一人ひとりの趣味・趣向に応じた健康づくりや地域活動を実践・参加し、健康が保持・増進される。

実施内容(手段)	令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか
	健康づくり無関心層も含め、多くの市民が容易に参加できる制度の検討を進めていたが、新型コロナウイルス感染症等の新規感染症予防の観点にも留意した検討が必要となった。このため、改めて新しい生活様式を考慮した健康づくり等後押し(動機づけ)の整理や、他都市事例などの情報収集を行い、具体的な事業の運用方法等について検討した。

事業費(千円)		
令和2年度決算額(見込額)		
歳出合計		0
歳入	特定財源	0
	一般財源	0
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	R1 R3
歳出合計		3,423 9,448
	特定財源	925 0
歳入	一般財源	2,498 9,448

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか) 市民が健康づくりや地域活動・社会参加に取り組むことができる仕組みを検討する。	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか) 市民が健康づくりや地域活動・社会参加に取り組むことができる環境を創出する。	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか) 健康づくりや地域活動・社会参加に取り組むことができる市民が増加する。	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか) 現役世代から健康寿命の延伸や介護予防に努めることで、人生100年時代に向け、市民個々人がいきいきとしたシニアライフを実現できる。 その結果として、医療費や介護費の縮減につながる。																																																																																			
	活動の指標	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">市民の健康づくりなどを後押しするアプリの導入数</td> <td>目標</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>R3年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	市民の健康づくりなどを後押しするアプリの導入数	目標	-	-	1	R3年度	実績	-	-	1	1	達成率	-	-				目標				R 年度	実績					達成率					成果の指標(KPI)	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度		目標				R 年度	実績					達成率						目標				R 年度	実績					達成率			
指標の内容	年度	実績			目標																																																																																		
		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度																																																																																		
市民の健康づくりなどを後押しするアプリの導入数	目標	-	-	1	R3年度																																																																																		
	実績	-	-	1	1																																																																																		
	達成率	-	-																																																																																				
	目標				R 年度																																																																																		
	実績																																																																																						
	達成率																																																																																						
指標の内容	年度	実績		目標																																																																																			
		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度																																																																																		
	目標				R 年度																																																																																		
	実績																																																																																						
	達成率																																																																																						
	目標				R 年度																																																																																		
	実績																																																																																						
	達成率																																																																																						



# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	地域リハビリテーション活動支援事業		
<b>所管課</b>	保健福祉局高齢社会部地域包括ケア推進課	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b>
<b>開始年度</b>	平成29年度		市民が日頃から健康づくり・介護予防に取り組めるよう、住民主体の活動を支援する仕組みづくりが求められていた。
<b>根拠法令</b>	介護保険法第115条の45第1項第1号		
<b>行政計画</b>	なし		

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	1-3-2		<b>施策成果指標</b>
	再			
<b>分野別目標</b>	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている			
<b>施策</b>	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり			
<b>事業群</b>	生涯現役社会づくり			健康に生活している高齢者の割合

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	第1号被保険者のすべての者、及びその支援のための活動に関わる者
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	体力評価や運動等の新たな知識を得ることで、自主的に健康づくり・介護予防に取り組む団体が活動を継続することができる。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	健康づくり・介護予防に取り組む自主グループに対し、理学療法士や健康運動指導士等の専門職を年1~2回派遣し、体力評価や新たな体操のメニュー等の紹介等※新型コロナウイルスの影響により未実施

事業費(千円)		
<b>令和2年度決算額(見込額)</b>		
歳出合計		583
歳入	特定財源	556
	一般財源	27
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
年度	R1	R3
歳出合計	7,057	5,740
歳入	特定財源	6,677
	一般財源	380
	718	

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)	
	理学療法士や健康運動指導士等の専門職を、健康づくり・介護予防に取り組むグループへ派遣する。	体力評価や運動等の知識の提供を行うことで、参加者自身の取組み継続へのモチベーション維持につながる、また活動のマンネリ化を防ぎ、活動の継続につながる。	自主グループの活動が継続され、健康の維持増進につながる。	健康づくり・介護予防に取り組める場所が増え、地域で介護予防が推進され、健康寿命の延伸につながる。	
	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>		
	年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
<b>活動の指標</b>	目標	180	180	R 年度	
	実績	256	0	180	
	達成率	142.2%	0.0%	-	
	達成率			R 年度	
	目標			R 年度	
	実績			R 年度	
	達成率			R 年度	

  

<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>		
	<b>健康に生活している高齢者の割合(3年に1度集計) ※平成28年度:50.6% 福岡市高齢者実態調査より</b>	年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
		目標	-	-	R 年度	
		実績	48.4	-	-	
達成率		-	-	-		
	目標			R 年度		
	実績			R 年度		
	達成率			R 年度		

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業区分 重点

事業名	アラカンフェスタ実行委員会経費		
所管課	保健福祉局高齢社会部 高齢福祉課	背景	事業を始めた理由(きっかけ)は何か
開始年度	平成25年度		超高齢社会の到来に向けてアクティブエイジング(生涯現役社会づくり)を進める必要があったもの。
根拠法令	なし		
行政計画	なし		

基本計画			
施策コード	主	1-3-2	
	再		
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり		
事業群	生涯現役社会づくり		
施策成果指標	健康に生活している高齢者の割合 (平成25年:46.5%、令和4年:50%)		

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか	60歳前後を中心とした幅広い世代の市民
	対象をどのような状態にしたいのか	趣味や余暇活動などによって、高齢者が健康で心豊かな生活を送るとともに、知識や経験を活かして、社会や地域の担い手・支え手として意欲的に活躍するようになる。
事業目的		

実施内容(手段)	令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか	<ul style="list-style-type: none"> <li>○退職等で生活スタイルの大きな転換が見込まれる60歳前後のアラカン世代を中心とした幅広い世代に、これからの過ごし方について考え、生きがいとしての就労や、趣味、地域・ボランティア活動などを行うきっかけにもらうイベント「アラカンフェスタ」は、令和元年度同様、新型コロナウイルス感染症対策のため未開催となった。令和3年度の実施に向け、時期や会場の変更や、新しい生活様式を取り入れた実施方法の見直しを検討した。</li> <li>○60歳前後を中心としたシニアが、自らイベントを企画して地域資源を活かした体験型の教室やビジネス開発などを行う「R60倶楽部」は、感染症対策を徹底の上、実施。趣味や就業・創業といったシニアの新たなチャレンジの後押しや、健康づくりをテーマとするセミナーを開催し、リアルタイム及び録画の配信も行った。</li> <li>○市政だよりや常設のホームページ等により、事業やイベントの情報発信を行った。</li> </ul>

事業費(千円)		
令和2年度決算額(見込額)		
	歳出合計	2,500
歳入	特定財源	1,250
	一般財源	1,250
前年度決算額・翌年度予算額		
	年度	R1      R3
	歳出合計	12,263      9,575
歳入	特定財源	6,100      4,750
	一般財源	6,163      4,825

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか) ○アラカンフェスタの開催 ○R60倶楽部の実施 ○常設ホームページによるアラカン情報の配信	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか) ○60歳前後を中心とする多くの市民がアラカンフェスタに参加する。 ○R60倶楽部で60歳前後を中心とする多くの市民が、企画立案者となってイベントを行ったり、企画の参加者になったりする。	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか) ○アクティブエイジング(生涯現役社会づくり)の重要性を認識する人が増え、趣味や地域・ボランティア活動などの行動を実際に起こすアクティブシニアが増加する。	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか) ○生きがいをもって、いつまでも元気でいきいきと活躍する高齢者(の割合)が増える。																																																																														
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">「アラカンフェスタ」への来場者数</td> <td>目標</td> <td>6,500</td> <td>6,500</td> <td rowspan="3">1,500</td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">「R60倶楽部」への参加者数</td> <td>目標</td> <td>1,500</td> <td>1,500</td> <td rowspan="3">500</td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1,571</td> <td>336</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>104.7%</td> <td>22.4%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	「アラカンフェスタ」への来場者数	目標	6,500	6,500	1,500	R 年度	実績	0	0	—	達成率	0.0%	0.0%		「R60倶楽部」への参加者数	目標	1,500	1,500	500	R 年度	実績	1,571	336	—	達成率	104.7%	22.4%		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">60歳以上市民の地域活動参加率(%) <small>「成果指標に関する意識調査について」より</small></td> <td>目標</td> <td>53.0</td> <td>53.0</td> <td rowspan="3">53.0</td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>59.6</td> <td>55.4</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>112.5%</td> <td>104.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	60歳以上市民の地域活動参加率(%) <small>「成果指標に関する意識調査について」より</small>	目標	53.0	53.0	53.0	R 年度	実績	59.6	55.4	—	達成率	112.5%	104.5%			目標				R 年度		実績						達成率				
	指標の内容			年度	実績		目標																																																																											
		R1年度	R2年度		R3年度	最終年度																																																																												
「アラカンフェスタ」への来場者数	目標	6,500	6,500	1,500	R 年度																																																																													
	実績	0	0		—																																																																													
	達成率	0.0%	0.0%																																																																															
「R60倶楽部」への参加者数	目標	1,500	1,500	500	R 年度																																																																													
	実績	1,571	336		—																																																																													
	達成率	104.7%	22.4%																																																																															
指標の内容	年度	実績		目標																																																																														
		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度																																																																													
60歳以上市民の地域活動参加率(%) <small>「成果指標に関する意識調査について」より</small>	目標	53.0	53.0	53.0	R 年度																																																																													
	実績	59.6	55.4		—																																																																													
	達成率	112.5%	104.5%																																																																															
	目標				R 年度																																																																													
	実績																																																																																	
	達成率																																																																																	

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

		事業区分	重点
<b>事業名</b>	地域包括ケア情報プラットフォーム構築事業・地域包括ケア情報プラットフォーム(データの有効活用)(まとめて点検)		
<b>所管課</b>	保健福祉局総務企画部 政策推進課	<b>背景</b> <b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b> 行政が保有している様々な情報を有効に活用するため、保健、福祉、医療に関する情報を一元的に集約・管理するとともに分析、評価を行い、エビデンスに基づいた実効性のある施策を立案する必要があるため。	
<b>開始年度</b>	平成26年度		
<b>根拠法令</b>	医療介護総合確保促進法		
<b>行政計画</b>	政策推進プラン		

基本計画			
<b>施策コード</b>	主	1-3-3	
	再	1-6-1	
<b>分野別目標</b>	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
<b>施策</b>	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり		
<b>事業群</b>	健康先進都市づくり		

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	職員、医療・介護関係者、要介護者やその家族等
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	データを見える化し、地域課題、事業課題を分析、評価することにより、エビデンスに基づいた実効性のある施策の立案実施を可能とするともに、医療・介護の支援関係者間での支援対象者の情報共有を図る。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	「地域包括ケア情報プラットフォーム」を構成する各システム等について以下を実施した。 ○データ分析システム「ケアビジョン」 ・操作方法についての庁内オンライン研修を実施し、システム利用普及・定着に向け取り組んだ。 ・公開中のオープンデータのデータセットを拡充した。 ・実効性のある施策立案に向けて、有識者と連携し、プラットフォームデータを活用した分析に取り組むとともに、データ分析にかかる職員研修を開催し、データ活用に長けた人材育成に取り組んだ。 ○在宅連携支援システム「ケアノート」 ・利用者拡大に向け、市の広報媒体等を活用した広報活動を実施した。 ・支援対象者の情報共有への課題等を把握するため利用者アンケートを実施した。 ・利用者からの問合せ対応やセキュリティ設定の支援等を行い、システムの安定運用に務めた。 ○情報提供システム「ケアインフォ」 ・利用者および登録事業者の増加に向け、市の広報媒体を活用した広報活動などを実施した。 ○その他 ・令和2年度末でリース満了となるシステム運用機器の更新作業を行い、継続的なシステムの安定稼働を図った。

事業費(千円)			
<b>令和2年度決算額(見込額)</b>			
歳出合計		120,096	
歳入	特定財源	0	
	一般財源	120,096	
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>			
	年度	R1	R3
歳出合計	47,046	93,915	
歳入	特定財源	10,395	13,754
	一般財源	36,651	80,161

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか) ○保健、福祉、医療等の情報を一元的に集約、管理する「地域包括ケア情報プラットフォーム」を構築し、データを見える化する。 ○データを効率的に利用できる職員の育成 ○集約されたデータを活用した、市民への啓発・情報発信 ○要介護者や家族への情報共有ツールの周知	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか) ○見える化されたデータを活用した他地域との比較等により、地域課題の抽出および事業や施策の課題の抽出ができるようになる。 ○情報共有ツールの参加者が増加する。	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか) ○抽出された地域課題や事業課題を分析、評価することにより、エビデンスに基づいた実効性のある施策の立案が可能となるとともに、医療・介護の支援関係者間での支援対象者の情報共有が図られる。	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか) ○在宅の要介護高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を安心して送ることができ、また、効果的、効率的に支援できる社会の実現
	▶	▶	▶	
	▶	▶	▶	
	▶	▶	▶	

  

<b>活動の指標</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>		
		年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
	データ分析システムの結果を活用した事業の企画・立案数	目標	-	-	-	R7年度
		実績	-	-	-	20
	達成率	-	-	-	-	
各専門職による情報共有ツールへの参加者数(高齢者本人)	目標	19,000	30,000	-	R7年度	
	実績	24,000	34,000	35,000	-	
	達成率	126.3%	113.3%	-	60,000	

  

<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>		
		年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
	健康に生活している高齢者の割合(3年に1度集計)	目標	49.0	-	-	R4年度
		実績	48.4	-	-	50.0
	達成率	98.8%	-	-	-	
最期まで自宅で暮らせる高齢者の割合(翌年9月集計)	目標	11.7	11.7	-	R2年度	
	実績	12.1	未確定	-	-	
	達成率	103.4%	-	-	11.7	

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業名	健康先進都市推進経費	
所管課	保健福祉局総務企画部 健康先進都市推進担当	背景
開始年度	平成28年度	
根拠法令	なし	
行政計画	なし	
<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b> 今後ますます進展する超高齢社会にあって、保健医療福祉施策に求められる制度やサービスが量的・質的にも増大・多様化するため、新たな発想や手法を取り入れ、持続可能な仕組みを構築する必要がある。		

基本計画			
施策コード	主	1-3-3	
	再		
分野別目標	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
施策	一人ひとりが健康で、生涯元気に活躍できる社会づくり		
事業群	健康先進都市づくり		
施策成果指標	健康に生活している高齢者の割合(60歳以上で「健康で普通に生活している」と回答した市民の割合) (令和4年度目標値:50%)		

## 【事業概要】

対象	誰(何)を対象として行うのか
	市民、企業など
事業目的	対象をどのような状態にしたいのか
	市民や企業、大学など幅広いプレイヤーが参画し、これまでの行政施策の範疇を超えて新たなサービスなどが導出されることで、市民一人ひとりが心身ともに健康で“自分らしく”生きていける、長寿を心から喜べるまちになっている。

実施内容(手段)	<b>令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b> ○「福岡100」プロジェクトの発信 健康先進都市づくりのため、健康・医療・介護だけでなく、住まいや地域づくり、働き方なども含めた、広い意味でのまちづくりを、行政だけでなく市民、企業、大学など幅広いプレイヤーの参画を得ながら推進する「福岡100」プロジェクトとして、市内外へ発信した。
	○福岡100事業の実施 健康づくりに関する産学官民による共働・共創の場「福岡ヘルス・ラボ」の運営や、人生100年時代に向けた市民のチャレンジとそれを応援する事業者をつなぐ取り組みである「福岡100PARTNERS」などを実施した。

事業費(千円)			
令和2年度決算額(見込額)			
歳出合計		25,269	
歳入	特定財源	11,800	
	一般財源	13,469	
前年度決算額・翌年度予算額			
	年度	R1	R3
歳出合計		31,117	26,618
歳入	特定財源	15,395	9,477
	一般財源	15,722	17,141

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー(ロジックモデル)	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか) ○健康先進都市戦略に基づき、産学官民オール福岡で取り組む様々な事業を展開する。 ○市民や企業の効果的な巻き込みのため、渉外活動や情報発信を行う。	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか) ○福岡市における人生100年時代に向けた行動変容に対する機運が醸成される。	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか) ○市民や企業、大学など幅広いプレイヤーが福岡100の各取組に参画する。	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか) ○行政施策の範疇を超えて新たなサービスなどが導出される。 ○市民一人ひとりが心身ともに健康で“自分らしく”生きていける、長寿を心から喜べるまちとなる。																																																																													
	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">「福岡100」プロジェクトの推進</td> <td>目標</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td rowspan="3">評価</td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>推進</td> <td>推進</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">活動の指標</td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	「福岡100」プロジェクトの推進	目標	推進	推進	評価	R 年度	実績	推進	推進	-	達成率	-	-		活動の指標	目標				R 年度	実績					達成率					<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">新たな福岡100事業の創出数</td> <td>目標</td> <td>60</td> <td>80</td> <td rowspan="3">100</td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>60</td> <td>80</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果の指標(KPI)</td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	新たな福岡100事業の創出数	目標	60	80	100	R 年度	実績	60	80	-	達成率	100.0%	100.0%		成果の指標(KPI)	目標				R 年度	実績					達成率			
指標の内容	年度			実績		目標																																																																											
		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度																																																																												
「福岡100」プロジェクトの推進	目標	推進	推進	評価	R 年度																																																																												
	実績	推進	推進		-																																																																												
	達成率	-	-																																																																														
活動の指標	目標				R 年度																																																																												
	実績																																																																																
	達成率																																																																																
指標の内容	年度	実績		目標																																																																													
		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度																																																																												
新たな福岡100事業の創出数	目標	60	80	100	R 年度																																																																												
	実績	60	80		-																																																																												
	達成率	100.0%	100.0%																																																																														
成果の指標(KPI)	目標				R 年度																																																																												
	実績																																																																																
	達成率																																																																																

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業区分	重点
------	----

<b>事業名</b>	在宅医療・介護連携推進事業	
<b>所管課</b>	保健福祉局健康医療部 地域医療課	<b>背景</b> 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 介護保険法改正に伴い、在宅医療・介護連携推進事業が地域支援事業に位置付けられ、市町村が主体となり、医師会等と連携して取り組むこととされた。
<b>開始年度</b>	平成27年度	
<b>根拠法令</b>	介護保険法、医療介護総合確保促進法	
<b>行政計画</b>	なし	

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	1-6-1		<b>施策成果指標</b> なし
	再			
<b>分野別目標</b>	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている			
<b>施策</b>	すべての人が安心して暮らせる福祉の充実			
<b>事業群</b>	地域包括ケアの推進			

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	○市民 ○医療・介護従事者
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	(市民) ○医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしい生活が続けられる。 (医療・介護従事者) ○在宅療養患者に対し、在宅医療と介護を切れ目なく提供できる。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	①検討会議の開催 毎年、市医師会と在宅医療について協議する場として在宅医療協議会と、そのワーキンググループである地域包括ケアシステム推進委員会を開催し、在宅医療推進のための取組について検討しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、在宅医療協議会は書面開催、地域包括ケアシステム推進委員会は未開催
	②在宅医療推進のための取組方針の策定 市医師会、各区医師会が在宅医療を推進する中心的な役割を果たす病院として各区にブロック支援病院をいくつか選定し、医療連携のための取組を開始している。まずは、下記3つのことに取り組むこととしている。 ・在宅医療に携わる医師を増やすための医師間の関係づくりと動機づけ ・在宅医を支える病院のバックアップ体制 ・代診医制度 また、令和元年度より、在宅医療に関わる医師を増やす方策を考えるため、既存データを用いた福岡市の在宅医療の現状の把握に取り組んでいる。
	③看取りに関する実態調査 福岡市における看取りの実態を把握するとともに、在宅医療の推進に向けた課題や必要な施策を検討することを目的として、厚生労働省の平成30年人口動態調査死亡票及び死亡小票のデータ分析を行った。
	④在宅医療と介護の連携体制づくり ・社会資源情報ブックの電子化 ・多職種連携研修会(市医師会に委託して区ごとに実施) ・専門職向けに在宅医療・介護連携に関する相談窓口を設置(市医師会に委託)
	⑤在宅医療に関する市民啓発 ・市民公開講座(市医師会に委託して区ごとに実施) ・在宅医療に関するパンフレットの増刷

事業費(千円)			
<b>令和2年度決算額(見込額)</b>			
	<b>歳出合計</b>	42,202	
	<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	36,045
<b>一般財源</b>		6,157	
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>			
	<b>年度</b>	R1	R3
	<b>歳出合計</b>	47,027	56,148
	<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	41,695
<b>一般財源</b>		5,332	10,808

【ロジックモデル・指標の達成度】

事業フロー（ロジックモデル）

**①活動アウトプット**  
(どんな活動を行うのか)

○在宅療養患者に在宅医療と介護を切れ目なく提供するための施策を検討し実施する。

**②結果アウトプット**  
(活動の結果、どうなるのか)

(市民)  
○啓発事業に参加する。  
○パンフレットを読む。  
(医療・介護従事者)  
○病院を中心とした交流会・情報交換会等に参加する。  
○社会資源情報ブックや相談窓口を活用する。  
○研修会に参加する。

**③中間アウトカム**  
(その結果、対象はどうなるのか)

(市民)  
○在宅医療への理解が深まり、在宅医療を受ける人が増える。  
(医療・介護従事者)  
○在宅医療に携わる医師が増える。  
○医療・介護従事者の連携が進む。

**④最終アウトカム**  
(その結果、市としてどうなるのか)

(市民)  
○医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしい生活続けることができる。  
(医療・介護従事者)  
○在宅療養患者に対し、適切な在宅医療と介護を切れ目なく提供することができる。

指標の内容	年度	実績		目標	
		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
市民啓発の実施回数	目標	7	7	7	R 年度
	実績	11	7		—
	達成率	157.1%	100.0%		
多職種連携研修会の実施回数	目標	21	21	21	R 年度
	実績	20	8		—
	達成率	95.2%	38.1%		

指標の内容	年度	実績		目標	
		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
在宅療養支援診療所の数	目標	—	—	増加	R 年度
	実績	228	220		増加
	達成率	—	—		
最期まで自宅で暮らせる高齢者の割合	目標	11.7	11.7	11.7	R 年度
	実績	12.1	未確定		11.7
	達成率	103.4%	—		11.7

成果の指標（KPI）

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	地域包括ケアシステム推進事業・地域ケア会議・地域ネットワーク支援事業(まとめて点検)		
<b>所管課</b>	保健福祉局高齢社会部 地域包括ケア推進課	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b> 平成23年6月改正の介護保険法に地域包括ケアの理念が規定されたことを受け、第5期介護保険事業計画(平成24～平成26年度)に地域包括ケアシステムの構築を位置付け、取組みを開始
<b>開始年度</b>	平成24年度		
<b>根拠法令</b>	介護保険法第5条3項、第115条48項		
<b>行政計画</b>	保健福祉総合計画、第6期介護保険事業計画		

基本計画			
<b>施策コード</b>	主	1-6-1	
	再		
<b>分野別目標</b>	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
<b>施策</b>	すべての人が安心して暮らせる福祉の充実		
<b>事業群</b>	地域における総合的な福祉サービスの構築		

**施策成果指標**  
 福祉の充実に対する満足度  
 (平成28年度50%、令和4年度65%)

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b> ○市民 ○保健福祉等の関係機関・団体、事業所、専門職(以下「関係機関等」)
	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b> ○市民が住み慣れた地域で、必要に応じて公的サービスを利用し、また、地域で支え合いながら、安心して暮らしている。 ○関係機関等が十分に連携して市民の自立生活に資する事業活動を行いつつ、地域とともに支え合いなどの公益活動に取り組んでいる。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b> ○市民・専門職を対象に、下記を実施 ・地域ケア会議の周知啓発(個別啓発・地域に情報提供等) ・市民・専門職向けの地域包括ケア講座等 ・各区で市民向けの啓発イベントを実施 ○関係機関等と連携し、下記を実施 ・医療介護連携の重層的なネットワークづくり ・地域ケア会議5階層で高齢者支援、課題把握、取組検討 ・市地域ケア会議で関係機関等の進捗管理、連携推進 ・市民・専門職向けの地域包括ケア講座等の実施 ○自立支援型地域ケア会議の全市展開 ・介護予防の観点強化した個別支援会議を圏域毎に開催
-----------------	--

事業費(千円)		
<b>令和2年度決算額(見込額)</b>		
	<b>歳出合計</b>	46,063
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	30,637
	<b>一般財源</b>	15,426
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	<b>年度</b>	R1      R3
	<b>歳出合計</b>	50,618      49,609
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	37,235      36,207
	<b>一般財源</b>	13,383      13,402

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)																																																																										
	○地域ケア会議を市民に周知啓発 ○地域ケア会議を重層的に実施 ○地域ケア会議で関係機関等の取組共有 ○市民や専門職へ地域包括ケアの講座実施 ○関係機関等との意見交換を実施	○地域ケア会議開催で高齢者支援が増える。 ○地域ケア会議開催で課題を把握できる。 ○市民や関係機関等が、予防・地域活動等の重要性に気づく。 ○講座開発や講師経験等を通して、関係機関等と市民の間の連携が進む。	○関係機関等で、公助・共助の充実等への検討が進む。 ○関係機関等の地域での公益活動参加が増える。 ○地域主体の支え合いが増える。	○高齢になっても安心して地域で暮らすことができ、福祉の充実に対する満足度が向上する。																																																																										
	<b>活動の指標</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">地域ケア会議(5階層)の開催回数</td> <td>目標</td> <td>738</td> <td>760</td> <td rowspan="3">700</td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>680</td> <td>569</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>92.1%</td> <td>74.9%</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">専門職の理念共有の講座の延べ参加人数</td> <td>目標</td> <td>-</td> <td>-</td> <td rowspan="3">100</td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>405</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	地域ケア会議(5階層)の開催回数	目標	738	760	700	R 年度	実績	680	569	-	達成率	92.1%	74.9%	-	専門職の理念共有の講座の延べ参加人数	目標	-	-	100	R 年度	実績	405	-	-	達成率	-	-	-	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">指標の内容</th> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">実績</th> <th colspan="2">目標</th> </tr> <tr> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>最終年度</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">個別支援会議の開催数(件) ※2～3件/回</td> <td>目標</td> <td>-</td> <td>500</td> <td rowspan="3">500</td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>-</td> <td>431</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>-</td> <td>86.2%</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">地域包括ケアアクションプラン参加団体数</td> <td>目標</td> <td>20</td> <td>20</td> <td rowspan="3">20</td> <td>R 年度</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>-</td> </tr> </table>	指標の内容	年度	実績		目標		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	個別支援会議の開催数(件) ※2～3件/回	目標	-	500	500	R 年度	実績	-	431	-	達成率	-	86.2%	-	地域包括ケアアクションプラン参加団体数	目標	20	20	20	R 年度	実績	20	20	-	達成率	100.0%	100.0%
指標の内容	年度	実績			目標																																																																									
		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度																																																																									
地域ケア会議(5階層)の開催回数	目標	738	760	700	R 年度																																																																									
	実績	680	569		-																																																																									
	達成率	92.1%	74.9%		-																																																																									
専門職の理念共有の講座の延べ参加人数	目標	-	-	100	R 年度																																																																									
	実績	405	-		-																																																																									
	達成率	-	-		-																																																																									
指標の内容	年度	実績		目標																																																																										
		R1年度	R2年度	R3年度	最終年度																																																																									
個別支援会議の開催数(件) ※2～3件/回	目標	-	500	500	R 年度																																																																									
	実績	-	431		-																																																																									
	達成率	-	86.2%		-																																																																									
地域包括ケアアクションプラン参加団体数	目標	20	20	20	R 年度																																																																									
	実績	20	20		-																																																																									
	達成率	100.0%	100.0%		-																																																																									

# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

<b>事業名</b>	障がい者の地域生活支援機能強化事業	
<b>所管課</b>	保健福祉局障がい者部 障がい者支援課	<b>背景</b> 事業を始めた理由(きっかけ)は何か 障がい者の重度化・高齢化や「親なき後」の地域生活も見据えた総合的な支援体制構築のため、障がい者の地域生活支援機能の強化を図ることを目的に開始
<b>開始年度</b>	平成29年度	
<b>根拠法令</b>	障害者総合支援法	
<b>行政計画</b>	福岡市保健福祉総合計画	

基本計画			<b>施策成果指標</b> ○福祉の充実に対する満足度 ○障がいのある人が暮らしやすいまちだと感じている市民の割合
<b>施策コード</b>	主 再	1-6-2	
<b>分野別目標</b>	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている		
<b>施策</b>	すべての人が安心して暮らせる福祉の充実		
<b>事業群</b>	障がい者の自立と社会参加の支援		

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b>
	障がい者及びその家族
<b>事業目的</b>	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b>
	障がい者の重度化・高齢化、「親なき後」を見据えた総合的な支援体制が構築されることにより、親元からの自立や、施設等からの地域生活への移行が促される等、障がい者が在宅で安心して生活できるようにする。

<b>実施内容(手段)</b>	<b>令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	24時間対応の相談体制や緊急時の受入れ拠点の確保など「地域生活支援拠点等」を整備 【実施内容】 ○地域生活支援拠点等の整備に伴う緊急時の受け入れ・対応 ○グループホーム情報提供 ○高度な支援スキルを有する人材の育成(医療的ケア児等コーディネーター養成事業) ○コミュニケーション支援員派遣事業 ○訪問型在宅レスパイト事業

事業費(千円)		
<b>令和2年度決算額(見込額)</b>		
歳出合計		47,589
歳入	特定財源	23,939
	一般財源	23,650
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	年度	R1      R3
歳出合計		47,649      53,845
歳入	特定財源	22,367      38,848
	一般財源	25,282      14,997

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか)	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか)	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか)	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか)		
	○地域生活支援拠点等の整備に伴う緊急時の受け入れ・対応 ○体験の機会・場の確保 ○高度な支援スキルを有する人材の育成 ○コミュニケーション支援員等派遣事業 ○訪問型在宅レスパイト事業	○緊急時受入れ拠点や、体験の機会・場、訪問型在宅レスパイト事業等について周知され、障がい者が必要な時に利用できる体制が整備される。	○障がい者の重度化・高齢化、「親なき後」を見据えた総合的な支援体制が構築されることにより、親元からの自立や、施設等からの地域生活への移行が促される等、障がい者が在宅で安心して生活できる。	○障がい者が必要な支援を受けながら、自らの能力を最大限発揮し、地域や家庭でいきいきと生活できる。		
	<b>活動の指標</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>	
		年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
	緊急時受け入れ・対応拠点整備箇所数	目標	3	3	3	R 年度
	実績	3	3	3	-	
	達成率	100.0%	100.0%			
	目標				R 年度	
	実績					
	達成率					

  

<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>活動の指標</b>	<b>実績</b>	<b>目標</b>			
	年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	
	地域生活支援拠点等整備箇所数	目標	7	7	7	R 年度
		実績	7	7	7	-
		達成率	100.0%	100.0%		
	目標				R 年度	
	実績					
	達成率					



# 事務事業マネジメントシート（令和2年度実施分）

事業区分 重点

<b>事業名</b>	障がい者グループホーム設置促進等事業		
<b>所管課</b>	保健福祉局障がい者部 障がい福祉課	<b>背景</b>	<b>事業を始めた理由(きっかけ)は何か</b> 施設に入所または病院に入院している障がい者の地域生活への移行を促進させるため
<b>開始年度</b>	平成15年度		
<b>根拠法令</b>	福岡市障がい者グループホーム設置費補助金交付要綱等		
<b>行政計画</b>	第5期福岡市障がい福祉計画		

基本計画				
<b>施策コード</b>	主	1-6-2		<b>施策成果指標</b> なし
	再			
<b>分野別目標</b>	一人ひとりが心豊かに暮らし、元気に輝いている			
<b>施策</b>	すべての人が安心して暮らせる福祉の充実			
<b>事業群</b>	障がい者の自立と社会参加の支援			

## 【事業概要】

<b>対象</b>	<b>誰(何)を対象として行うのか</b> 障がい者グループホームの開設を希望する社会福祉法人等
	<b>対象をどのような状態にしたいのか</b> 障がい者グループホームの開設に必要な情報が常時入手可能であり、希望する不動産物件がすみやかに見つかるとともに、必要に応じて、建築基準法上の用途変更について要件緩和の恩恵を受ける、補助申請により開設経費の負担が軽減される等、希望すればスムーズに障がい者グループホームが開設できる状態
<b>事業目的</b>	

<b>実施内容(手段)</b>	<b>令和2年度、目的達成に向けてどのような方法で何を行ったのか</b>
	○「福岡市障がい者グループホーム開設応援サイト」の運用 市HP上に設置している同サイトにおいて、不動産物件の紹介等の協力が可能な宅地建物取引業者を「不動産協力店」として登録し、開設希望法人が求める物件情報等とのマッチングを支援するなど、開設に役立つ法人向け情報を提供
	○GH設置にかかる補助金(市単費)の交付
	○社会福祉施設等整備費補助(国2/3、市1/3)の施設選定及び補助金の交付
	○市営住宅を活用したグループホームの開設支援 住宅都市局と連携し市営住宅を活用したグループホームの開設を支援 ○重度障がい者向けGHの設置促進に向けた運営費補助制度の創設

事業費(千円)		
<b>令和2年度決算額(見込額)</b>		
	<b>歳出合計</b>	66,435
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	61,800
	<b>一般財源</b>	4,635
<b>前年度決算額・翌年度予算額</b>		
	<b>年度</b>	R1      R3
	<b>歳出合計</b>	392,334      135,715
<b>歳入</b>	<b>特定財源</b>	245,387      89,449
	<b>一般財源</b>	146,947      46,266

## 【ロジックモデル・指標の達成度】

<b>事業フロー(ロジックモデル)</b>	<b>①活動アウトプット</b> (どんな活動を行うのか) ○「福岡市障がい者グループホーム開設応援サイト」において開設に必要な情報を提供する。 ○「不動産協力店」と開設希望法人とのマッチングを支援する。 ○補助制度を周知する。 ○市住及び市営住宅建替えに伴う市有余剰地活用について関係各局と連携を図る。	<b>②結果アウトプット</b> (活動の結果、どうなるのか) ○「グループホーム開設応援サイト」から開設に必要な情報が入手され、併せて申請した宅地建物取引業者が「不動産協力店」として登録され、開設希望法人が求める不動産物件の情報とともに上記サイト上に公開される。 ○補助金の交付申請が行われる。 ○市営住宅や市有余剰地にグループホームが開設される。	<b>③中間アウトカム</b> (その結果、対象はどうなるのか) ○「開設応援サイト」の利用により、開設に必要な情報がいつでも入手可能となり、また、希望する不動産物件が見つかりやすくなる。 ○開設に必要な経費の負担が軽減される。	<b>④最終アウトカム</b> (その結果、市としてどうなるのか) ○市内における障がい者グループホームの開設が進み、設置数(定員数)及び利用者数が増加する。 ○施設に入所または病院に入院している障がい者の地域生活への移行が促進される。			
	<b>活動の指標</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>		
		市営住宅を活用したグループホームの利用定員(人)	年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度
			目標	44	48	52	R 年度
			実績	39	45		—
達成率			88.6%	93.8%			
目標				R 年度			
実績							
達成率							
<b>成果の指標(KPI)</b>	<b>指標の内容</b>	<b>実績</b>		<b>目標</b>			
	共同生活援助(グループホーム)の利用量(人/月)	年度	R1年度	R2年度	R3年度	最終年度	
		目標	1,100	1,200	1,360	R 年度	
		実績	1,136	1,331		—	
		達成率	103.3%	110.9%			
目標				R 年度			
実績							
達成率							